

# 施工方法 積層ラック簡易工法用床材

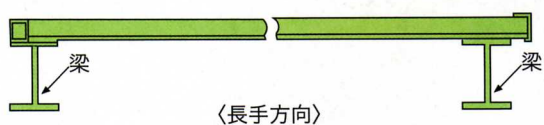
## 切断方法

使用数量がまとまっている場合は、長さ別の数量にもとづいて発注くだされば、工場で製造時に切断しますので、ロスがなくなります。特殊寸法などの場合は現場切断となりますが、多くはガス切断によって行いますが、切り口の見苦しい欠点がありその場合はフリクションソウか丸鋸のついたスキルソウを使うと便利です。

## 割り付け方法

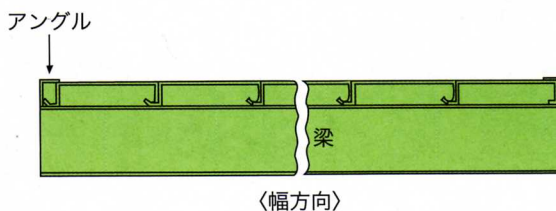
### ■長さの割り付け

SPフロアは通常2スパン以上の連続でご使用ください。止むを得ず単スパンでご使用される場合は、強度不足となる場合もありますので、SPフロアの許容荷重表に準じてください。



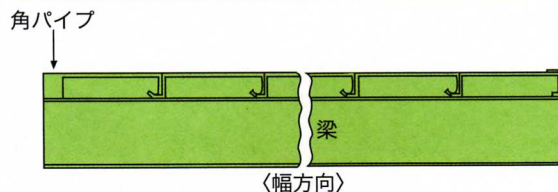
### ■幅の割り付け

SPフロアの幅は200mm又は125mmで製造されていますが、割り付けにおける1枚ずつのスキマが若干生じますのでそれを加味して、割り付け幅は1mm加算して201mm又は126mmで計算してください。



## 端部の処理

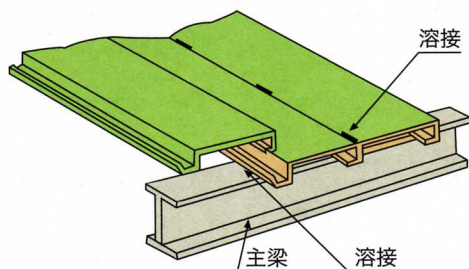
長手方向から端部は横断面がそのまま見えますので目かくしの意味からも38角パイプ又は、L40アングルを取り付けてください。幅方向の端部についても同様の角パイプ又はアングルにて処理してください。



## 取付け方法

### ■溶接による取付け

梁とSPフロアとの隅肉溶接となります。現場で所定の割り付け図に従って敷きならべると外曲げ部分の下部を隅肉溶接します。



### ■金具による取付け

梁とSPフロアの重なったリップ部分を金具とJボルトにより取付けます。(通常2スパン置きに取付けます。)この方法はSPフロアを敷きならべたのち、床下で作業することになり溶接による場合に比べ、取付けるのに若干手間がかかります。しかし、溶接の使えない現場とか小規模な床張りには適します。



## 床仕上げ材を貼る場合

### ■フロアに直接仕上材を貼る場合

長尺塩ビシートをお勧めします。防音、防振効果を高める仕上材の下地として、合板を敷いて頂くと事務所等の床として最適です。

